

2025年

9月

南風

ふれあい南伊豆ホスピタル

第265号

● 当院では、患者様が地域で安心して暮らしていただける為の支援をすすめています ●

編集・発行 医療法人社団 辰五会 ふれあい南伊豆ホスピタル 〒415-0151 賀茂郡南伊豆町青市 848 TEL 0558-62-1461 FAX 0558-62-0510

ふれあい南伊豆 ホスピタルの 退院支援 について



「退院を支援する」と聞くと、医師から退院の話を切り出されて、初めて退院に向けて動いていくイメージがあるかもしれません。しかし精神科病院の場合は、入院した時から退院に向けた支援が始まっているといっても過言ではありません。

例えば、患者様本人やそのご家族様から「眠れるようになれば自宅に帰りたい（帰ってきてもらいたい）」「うつ状態が落ち着くまでは入院をしたい（入院していてほしい）」というように、すでに入院時に退院のイメージが具体的な場合もあります。その他に、近年増加傾向にある認知症状が見られる患者様の場合は、ご家族様から「怒りっぽいところが内服などで落ち着けば自宅でも大丈夫」といった意向が聞かれたり、担当のケアマネジャー様から「徘徊等がひどくて目が離せず、介護する家族が疲弊している。入院しながら（申し込みしている）施設の入所を待ちたい」といったご相談を受けることもあります。

退院支援の方法は、自立することを目指す方、働くことを目指す方、障害サービスや介護保険サービスが必要とする方によってそれぞれ異なります。

◆ 入院から退院までの流れ



入院

患者様・ご家族様に退院後は、どのような生活を送りたいと思っているのかを伺います。

退院を難しくする要因が他にもあるかどうかを確認し、問題点があれば整理します。



必要があれば事前に病院職員と一緒に、自宅や施設の訪問に同行します。



退院までに準備しておくこと（例：薬の自己管理、家事の仕方、就労に向けての活動等）があれば、入院中に訓練することもあります。

退院



外来通院やデイケア、訪問看護を利用するなど必要なサービスを受けながら、地域生活を続けましょう。施設入所が決まり退院となることもあります。

不調時は受診を早めたり、医師と相談して入院を検討するなどしていきましょう。



患者様ごとの退院支援を 実施するのに必要なことは…



患者様ごとに入院が必要となった要因やその背景、ご家族様や支援される方々の関わり方、利用できる公的サービスの種類や退院先も異なります。関わるケースによっては「住まい」や「お金」、「成年後見人」「日中の居場所」といった課題を解決しなければ退院が進まず、退院まで時間がかかることもありました。

また賀茂圏域ならではの課題として、提供が困難な福祉サービス等もありますので、患者様やご家族様の了承を得て地域外の施設等を探すこともあります。上記の内容は厚生労働省ホームページで、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の一環として紹介されています。このように、誰もが地域で安心して自分らしく暮らせるように支える仕組みのことを、「にも包括」という略称で呼んでいます。

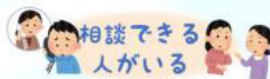
誰もが自分らしく 安心して生活するために

～地域全体や社会で支える～

誰もがともにその人らしく生活できる社会を目指して、精神障害を正しく理解し、みんなが住みやすい地域を、みんなで作っていくことが大切です



地域の理解
地域とのつながり

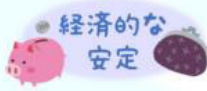


相談できる
人がある



医療

住む場所が
ある



経済的な
安定



働く場所
がある

福祉や制度
の活用

Search 「にも包括」 🔍

出典：神戸市ウェブサイト「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」
<https://www.city.kobe.lg.jp/a00685/nimohokatsu/nimo.html>

患者様の個性や価値観を尊重し、患者様やご家族様が求める退院後の生活を聞き取りながら退院を支援していく為に、院内の各専門職だけではなく地域の福祉サービスや、当院以外の医療機関や就労支援、行政といった地域の様々な社会資源を活用することになります。

今後も多職種と協働しながら、患者様の退院支援を行っていきたいと考えています。何かお困りのことがありましたらお気軽に相談員までお声かけ下さい。

文：精神保健福祉士 藤田真咲



夏が過ぎ、海にいつもの静けさが
戻ってきたような気がします。

ふれあい南伊豆ホスピタル
☎0558-62-1461



2025年 9月発行 Vol.265

【監修】山本 善治

【構成・編集】藤田 真咲・稲本 今日子

【デザイン】F&Y

【作業協力】支援センターふれあい

利用者の皆さん

ふれあい南伊豆ホスピタル

広報委員会